

平成27年8月26日  
国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所

## 『無事故・無災害』の徹底を！

～1個4トンあるブロック据付状況のパトロールを実施しました～

衣浦港沖合の高潮西防波堤では老朽化と大規模地震発生時の沈下及び来襲する津波に対する防護効果の低下が懸念される事から、防波堤改良工事を進めています。

今年度は防波堤土台部分の石が津波によって移動・流出することを防止するため、最も津波の影響を受けやすい防波堤先端部分に大型（4トン）の被覆ブロックを据付ける工事を実施しています。

8月19日（水）、中部地方整備局港湾空港部及び三河港湾事務所職員と工事受注者9名が参加し、「工事安全パトロール」を実施しましたのでお知らせします。



パトロールの実施状況

### ■パトロール対象現場：

- ・平成27年度衣浦港外港地区西防波堤（改良）築造工事（受注者：徳倉建設（株））

### ■実施内容：別紙

- ・写真データ等の提供を希望される方は ●問合せ先 まで、ご連絡下さい。

### ●配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、半田記者クラブ、碧南記者クラブ、  
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

### ●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 衣浦港事務所  
航路管理課 課長 伊藤（いとう）

Tel 0569-21-2311

Fax 0569-21-2312

パトロールに先立ち、発注者を代表し、三河港湾事務所・鈴木所長（代理：伊藤航路管理課長）より「本工事の作業に際しては、『潜水作業事故』『はさまれ、巻き込まれ事故』『海中転落事故』などに対する事故防止対策を重点に置いて、安全対策に取り組んでいる所。本日のパトロールを通じて、さらなる安全意識向上に努めるとともに、『無事故・無災害』で工事を完了させて頂きたい」との挨拶がありました。

現場パトロールでは1個4トンある被覆ブロックを設置する作業の安全対策と作業環境について、危険箇所や不安全な行動が無いか点検を行いました。

パトロール後の意見交換は下請会社の職長も出席し、改善意見だけでなく他の工事の模範となるような良い対策に関するコメントも出されました。

中部地方整備局港湾空港部、港湾空港整備・補償課加藤課長による「安全講話」では、過去に発生した中部地方整備局の直轄工事（港湾関係）における潜水作業などの事故事例と事故防止対策のポイントの説明があり、「事故発生を未然に防ぐために『元請による現場巡視の充実、ヒューマンエラー対策が重要』」と強調されました。

当事務所としては、今回のパトロール成果を活かし、引き続き更なる工事現場の安全対策強化に取り組んで参ります。

### 改善意見と是正状況の例



【是正前：平台船にも救命浮環設置必要】



【是正後：救命浮環を設置】



【是正前：定格荷重表の文字が薄くなっている】



【是正後：新たに定格荷重表を作成・掲示】

### 模範となる良い対策の例



【「補助ロープ」の使用徹底を写真付きで明示】